

議会開設 100 年にちなんで その3

— 眼で見る議事堂建築 —

平成2年10月22日(月)～11月16日(金)

国政審議の場としての議事堂の建築は、第1回帝国議会開催に先立つ明治19年、内閣に臨時建築局が設けられて以来の懸案であり、建設予定地もすでに翌明治20年には永田町の現在地に決まりました。しかし、近代国家の威信を内外に示す議事堂の建設は容易な事業ではなく、その後実に半世紀を経て、昭和11年ようやく現国会議事堂の完成を見るに至りました。今回の展示は、その間の3つの仮議事堂の姿を中心に、当時の絵や写真で、議事堂建築の変遷を辿ることにしました。

展示資料リスト

1. 想像図

- 「大日本帝国国会仮議事堂之図」 探景画 明治21
『文明開化錦絵集』野々上慶一編 垂水書房 昭和42 <721.8-N953b>より
実際の仮議事堂完成(明治23年)の2年前に描かれた想像図

2. 第一次仮議事堂(明治23.11～24.1 焼失)

- 「国開仮議事堂真景」 吟光画 明治23
『錦絵幕末明治の歴史 10』小西四郎 講談社 昭和52 <GB415-39>より
第1回帝国議会召集日の前日に完成した木造二階建の洋風建築

3. 第一次仮議事堂炎上図(明治24.1)

- 「帝国議事堂炎上之図」 小林清親画 明治24
『明治大正図誌2 東京(2)』前田愛, 小木新造編
筑摩書房 昭和53 <GB641-50>より
完成後、僅か2か月足らずで灰燼に帰す

4. 第二次仮議事堂(明治 24. 10～大正 14. 9 焼失)

「明治大正図誌2 東京(2)」前田愛, 小木新造編

筑摩書房 昭和53

<GB641-50>より

明治 25 年に描かれた石版画

5. 第二次仮議事堂(明治 24. 10～大正 14. 9 焼失)

「帝国議会議事堂」

『東京名所写真帳』 尚美堂 明治43

<特67-225>より

第一次仮議事堂焼失後、約 10 か月で再建される

6. 広島臨時仮議事堂(明治 27・28 年)

『帝国議会議事堂建築報告書』 大蔵省営繕管財局編・刊 昭和13 付図共2冊

<758-145>より

日清戦争に際し、臨時に広島に設けられ、第 7・8 帝国議会が開かれた

7. 第三次仮議事堂(大正 14. 12～昭和 11. 5)及び建築中の現国会議事堂

『復興の帝都』 不動健治 写真日報社 昭和5

<412-122>より

8. 第三次仮議事堂(大正 14. 12～昭和 11. 5)

『帝国議会議事堂建築の概要』 大蔵省営繕管財局編・刊 昭和13 <722-17>より

関東大震災後、修繕工事中に失火・焼失した第二次仮議事堂の跡に建設される

9. 議事堂意匠設計公募第一等案

『国会議事堂』 共同通信社 1990(整理中)より

議事堂建築意匠設計懸賞募集(大正 7 年 9 月 官報にて公告)による応募図案 118 点より選ばれる
(大正 8 年 10 月)

10. 国会議事堂(昭和 11. 11 完成)

『帝国議会議事堂建築報告書』 大蔵省営繕管財局編・刊 昭和13 付図共2冊

<758-145>より

公募第一等図案を参考に大蔵省建築技手たちが設計したものが現国会議事堂となる。大正 9 年 1 月の地鎮祭より数えて 16 年にわたる大工事を経て完成